

科 目 名				学年
情報処理Ⅲ : Information Processing III				4C
教 員 名		末竹規哲 : SUETAKE Noriaki		
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	演習・前期	○
授業概要	C言語のプログラミングを通じ、情報処理の基礎概念や基礎技術を学ぶ。授業の形態は教室で講義を行い情報処理センタでプログラムの作成を行う。演習の結果は報告書にまとめてメールで送ることとする。教科書はハンドブック的に使用し、必要に応じて資料を配布する予定である。			
到達目標		評価方法		
(1)プログラムの編集、コンパイル、実行ができる。 (2)入出力判断繰り返しが使用できること。 (3)小さいプログラムの基本構成が記述できること。 (4)報告書が書けること。		評価方法は、①中間試験(35%)、②期末試験(35%)、③演習レポート(20%)、④自学自習によるレポート(10%)によって評価する。		
学習・教育目標		(B) ①	JABEE基準1(2)	(c)
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	プログラミング入門1	プログラミングの環境とその操作方法	
	第2	プログラミング入門2	開発言語の概要	
	第3	プログラミング入門3	開発環境とその使い方	
	第4	入出力関数の使用法	printf、scanf関数の使い方	
	第5	繰り返し技法1	for、while、do文の使い方	
	第6	繰り返し技法2	for、while、do文の使い方	
	第7	繰り返し技法3	for、while、do文の使い方	
	第8	演習1-1	for、while、do文の使い方	
	第9	演習1-2	for、while、do文の使い方	
	第10	条件による制御方法1	ifやswitch文の使い方	
	第11	条件による制御方法2	ifやswitch文の使い方	
	第12	演習2-1	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見等のプログラムで入門技法を習得する。	
	第13	演習2-2	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見等のプログラムで入門技法を習得する。	
	第14	演習2-3	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見等のプログラムで入門技法を習得する。	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。		
自学自習の内容		課題として演習問題を示す。レポート課題を課す。		
関連科目		情報処理I、情報処理II		
教科書		基礎C言語プログラミング(河野ら:共立出版)		
参考書				
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員		廣原志保 : HIROHARA Shiho		
備考				